

国連ウィメン日本協会新体制のご挨拶

理事長 橋本ヒロ子

世界で蔓延し変異を続ける新型コロナウイルス感染症やウクライナ侵攻、アフガニスタンのタリバン政権などにより、世界の多くの女性や少女が、貧困に追いやられ、退学し、性暴力を受け、人身取引の被害者になるなど、益々悲惨な状況に置かれるようになりました。



そのため、国連組織では唯一、女性や少女のエンパワメントのために設置されたUN Womenの活動は、世界の女性や少女、さらに世界の発展に向けて不可欠になっています。UN Womenの世界における活動のために寄付集め、募金活動をする国連ウィメン日本協会の役割もさらに重要になっています。

この度、国連ウィメン日本協会理事長に就任しました。よろしくお願いします。

まず、様々なメディアをこれまで以上に活用して広報の充実が課題です。日本協会のFacebookはUN Womenの活動、世界の女性や少女の状況についてのニュースを原則毎週更新しています。また、Landing pageも外部専門家のご協力のもとに魅力的な内容に変更し、Twitterにも連動させます。

最近、中高大学生などから、SDGsのゴール5ジェンダー平等関連で日本協会への、質問等が増えています。ジェンダー平等はゴール5だけにとどまらず、社会、経済、政治、環境など他のゴール達成のために不可欠な要素となっています。

国や国際的な意思決定に重要な役割を果たし始めている若い世代が、国連ウィメンの活動にもっと関心を持ってくださると日本や世界の未来の可能性が広がります。皆様のお知り合いの若い方がSDGsに関心がある場合、当協会のHP及びFacebookも参考にし、問い合わせるようお願いいたします。理事や私に対応します。

顧問 有馬真喜子

この度、特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会理事長の職を辞させていただきました。理事、協力協定団体、正会員・賛助会員の皆さま、企業やさまざまな団体の皆さま、気持ちよく一緒にさせていただきました。ありがとうございました。



2011年のUN Womenの設立、特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会の発足以来、一つ一つと一緒に、手作りで、創ってきたのだと思います。

新型コロナウイルスの蔓延で、外出も不自由になり、集まって活動できないという、予想だになかった事態にも直面しました。困難はありましたが、皆さまが知恵を出し合って、新しい方法で挑戦するという試みもして下さいました。世の中の“普通”が少しずつ動いています。

(特) 国連ウィメン日本協会には、やはり少しずつですが、フォローの風が吹いて来ています。“ジェンダー”という言葉が、メディアなどで普通に語られるようになってきました。生理などについてもそうです。

SDGsへの関心が高まり、地球環境保全の動きが中心ですが、「誰も取り残さない」17の目標への目も向けられています。

寄付行動も、静かな広がりを見せています。キリスト教文化圏と違って、日本には寄付の文化が育たない、と長年言われてきましたが、何を支援したいかを寄付という行動によって示そうという人々は確実に増えてきています。

そうした風を明確な形にする、流れにするために、これからも一緒に歩んでまいりましょう。また同じことを書かせていただければ、1975年、国際女性年のNGOの人たちの合言葉“世界を視野に、行動は足元から”です。

(前理事長)

ウクライナにおける女性および少女の状況 UN Womenがおこなったジェンダー分析調査

ロシア軍によるウクライナ侵攻が2月24日に始まってから3か月以上が経ちました。病院、学校、住宅、公共施設、公共インフラなどが破壊され、人々の生命や安全が脅かされています。ウクライナから近隣諸国への避難民は4月29日時点で既に550万人を越えました¹。18～60歳の男性は戒厳令により出国できないため、海外に逃れた人々の90%は女性と子どもです。また、国内避難民も770万人以上に達し、成人のうち60%は女性で、多くは妊娠していたり、障害があったり、高齢者だったり、性的暴力の被害者だったり、特に弱い立場におかれています²。

■ ジェンダー分析調査の概要

ロシアによる大規模な侵攻は、深刻な人権侵害であり国際人権章典にも違反しています。停戦及び人道支援が迅速に、かつジェンダーの視点に立っておこなわれるために、UN Womenは、CAREインターナショナルと合同で、緊急のジェンダー分析調査 (Rapid Gender Analysis: RGA) を実施しました。

4月初旬に調査チームが結成され、ウクライナの19州にいるシングルマザー、高齢者、障害者、LGBTQIA+、少数民族のロマ人、占領地にいる人々、及び政府機関、市民団体、国連機関職員を対象にして調査を行いました。対象者数は合計179人（うち女性123人 男性54人、非開示2人）でした。調査チームも爆撃にあたり、急にサイレンが鳴って防空壕に避難しなければならなくなったり、色々な困難に遭遇しました。

■ ジェンダー分析調査でわかったこと

調査からは、主に以下のようなことがわかりました。

(1) 地域で人道支援を受け、食料や医療品などの支援物資を住居や病院に配分したり、自動車を運転して届けたりするのは、ほとんど女性の役割になっています。子ども、高齢者、障害のある親族のケアワークも女性がおこなっています。女性の責任とリーダーシップは高くなっているものの、軍事下で中央集権化が強まり、女性が政治や平和構築の意思決定の正式な場から除外されることが多くなり、女性の声が届かなくなっています。

(2) ウクライナでは、徐々にジェンダー平等と女性のエンパワーメントが進んできたものの、コロナ禍の影響、さらにロシアの侵攻後は、学校が爆撃され、男性が失業し、戦闘に参加するようになったため、女性の無償の家事労働やケアワーク、地域のボランティア活動が増加しました。また、安定した収入も失われ生活が困窮しています。以前からあったジェンダー差別や不平等が大幅に増加し、特に女性世帯主、少数民族、障害者、LGBTQIA+などの人々が紛争の負の影響や複合的な差別を受けています。

(3) ジェンダーに基づく暴力 (GBV) の被害、なかでも家庭内暴力 (DV) と軍事下における性的暴力の被害が増加しています。警察は紛争の影響で、家庭内暴力に対応できなくなっています。また、男性が前線で闘っているため、女性は家庭を守らなければならないというプレッシャーもあり、暴力を受けても声をあげたり、支援を受けることができなくなっています。安全に過ごせるシェルターの確保、生理の衛生管理、授乳している母親に必要な栄養、子どもの健康やリプロダクティブ・ヘルスの確保（特に病院の爆撃による自宅分娩の増加、産婦人科医の不足など）が問題となっています。

■ 今、求められる行動

報告書は、緊急人道支援をおこなう国際団体に対して、以下のような対応を求めています。

①脆弱な状況にある男女、子ども、高齢者、障害者、ロマ人の固有のニーズに対応した緊急支援を提供する。

②支援をする際には、できるだけ性別データを収集し状況を分析する。

③女性と若者がリーダーシップを発揮し意思決定に平等に参加するよう支援する。

④多様な課題に対してジェンダーおよび包摂性の視点（誰も取り残さない）に立った支援計画を作り、女性および女性の権利団体へ資金を提供する。

⑤誰もが利用できる避難所へのアクセスを可能にし、避難所には性別、家族別の宿泊施設を提供し、子どもの教育や遊び場を確保する。

⑥女性や子どもが必要とする食料と栄養を提供する。

⑦子どもの家庭での学習に対する女性の負担を軽減するための支援をおこなう。

⑧避難民の男女に職業訓練と生計の選択肢を提供する。

⑨メンタルヘルスのための支援をおこなう。

⑩国境を超えるため身分証明書の発行を支援する。

⑪ジェンダーに基づく暴力防止のための資金及びサービスを提供する。

⑫リプロダクティブ・ヘルス、新生児や子どもの健康促進を支援する。

⑬被害を受けている住民とのコミュニケーションを図り、必要とする支援を提供できるシステムを構築する。

(田中由美子 理事)



UN WomenとCAREインターナショナルが2022年5月に発行した『ウクライナの迅速ジェンダー分析』報告書。
(写真：モルドバ。ウクライナでの軍事攻撃から逃れる人々。
UN Women / Aurel Obreja)

1 国連高等難民弁務官事務所 (UNHCR), 2022年4月8日。 2 国際移住機関 (IOM), 2022年4月17日。

応援メッセージ

評議員 八丁地園子

今、プレミアム市場上場企業では、昨年の金融庁・東証のコーポレート・ガバナンスコード（以下CGコード）・ガイドラインの改訂に沿い自社のCGコードを改訂しています。その中に女性管理職に関することが出てまいります。まずCGコード・ガイドラインについてお話しします。

これは2015年に「日本企業の稼ぐ



力をつけること」を目標に策定されました。稼ぐ力をつけるには海外投資家にも投資してもらえ信頼される企業であることが必要であり、CGコード・ガイドラインが策定されました。

昨年は「取締役会の機能発揮」や「企業の中核人材における多様性の確保」「サステナビリティを巡る課題への取り組み」を目的とした改訂が盛り込まれました。これも、世の中の激変とこれに呼応した国内外投資家のグローバルな投資スタンスに対応しての改訂です。

従って、企業は真剣に、中核人材の多様性の確保、つまり、女性管理職

の比率を上げることをCGコードに入れかつ中長期経営計画の目標等に組み入れています。CGコード・ガイドラインはその目標に具体的数値を入れることを要請していますので、かなり具体的なものになると思われます。

もちろん、これは、まだプレミアム市場上場企業対象の話ではありますが、遅かれ早かれ広がっていく傾向と推察されます。

おまかせしました!! ようやくです。がんばってきた女性の皆様、活躍のグラウンドが広がりそうです。

「2022国際女性デー」サヘル・ローズさんをゲストにチャリティ・イベント開催

3月8日はミモザで象徴される国際女性デー。

国連ウィメン日本協会は、「サヘル・ローズさんが語る『出会いこそ、生きる力 ～私の歩みに世界の女性と少女のエンパワーメントを重ねて～』」と題し、チャリティ オンラインイベントを開催、225名の方に参加していただきました。

国際女性デーを祝ってUN Womenが制作した「ジェンダー平等の実現のために声を上げよう」のビデオ上映に続いて、サヘル・ローズさんは、来日された経緯、日本での養母との生活、学校での差別や虐待の体験、俳優としての道を歩みながら、家庭のない子どもたちの心に寄り添いたい、活動を始められたことなどを話されました。海外の難民キャンプを訪れた時の子どもたちとの忘れられない出会いにも触れ、「お姉ちゃん、また来てね」と別れを惜しむ子どもたちの声と笑顔に励まされたこと、一人で行動を起こすことで人生の糧となるさまざまな出会いが生まれてきたと、話を結ばれました。参加者の方々からは、サヘルさんの行動力、やさしさ、勇気に力をもらったなど、多くの感動のコメントが寄せられました。

(岩城淳子 副理事長)



男子高校生のリクエストで、ジェンダーについての講和が実現

昨年10月頃、鹿児島県の高校男子生徒から事務局に講話の申し入れがあり、今年2月22日1限目に高校1、2年生全員約800名に、ネットで話をしました。

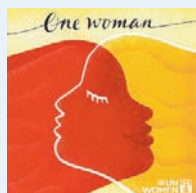
国連が世界の女性の地位向上に果たした役割、ジェンダーギャップ指数での日本の地位、鹿児島県女性の状況と県民の男女平等に関する意識について内閣府調査結果と比較して特徴などです。丁度、共同通信が都道府県における女子高生の大学進学率ランキングを発表し、鹿児島県が最下位でしたのでそれにも言及しました。さらに、鹿児島県が行った生理の貧困調査結果と必要な女性への生理用品配布場所なども話に入れました。

当該生徒が行ったアンケート調査の結果では、講話の内容が理解できた80%、ジェンダー平等の意識が高まった78.3%（うち57.5%がとても高まった）

一人の男子生徒が鹿児島県における男女平等意識を変えたいという思いから、この講話が実現できました。この生徒はカリフォルニアの大学進学を希望して勉強しているということです。

(橋本ヒロ子 理事長)

ご存じですか？ UN Womenの歌 「One Woman」



UN Womenの歌は2013年3月8日の国際女性デーに発表されました。

この曲は、女性の権利とジェンダー平等の運動に参加するように呼びかけ、団結と連帯のメッセージを広めるものです。「One Woman」は、世界中の女性と少女のチャンピオ

ンであるUN Womenのために、その使命と活動を祝福するために書かれました。「One Woman」は、私たちが一緒になって、女性に対する暴力と差別を克服し、より明るい未来に目を向けることができることを、私たちに思い出させてくれます。

「私たちは輝くでしょう!」この言葉と音楽を世界中に広めましょう!

(伊藤光子 理事)

<https://youtu.be/Dnq2QeCvwpw?list=PL3rc8FEOW8SaXAqofHn21SFEe0m7IDBEd>



協力協定団体の活動

国連ウィメン日本協会 北九州

2022年も7月2日(土)にチャリティバザーを開催します。

一昨年(2020年)はコロナ禍で開催を断念しましたが、昨年は、どのようにすれば新型コロナウイルスの感染を防止し、参加者に気持ちよくスムーズにバザー品を買っていただけるか、議論を重ねて開催にこぎつけました。

昨年のノウハウを生かして、今年も北九州市立男女共同参画センターの“ムーブフェスタ2022”の初日にバザーを開催します。感染対策のため、参加人数及び時間を区切った入替制とし、入口と出口を別々に設けることによって参加者が滞留しないように心がけます。

5月中旬には「今年もバザーを開催しますか」とのお問い合わせもあり、コロナ禍にあっても開催を待ち望んでいらっしゃる方々がいることを嬉しく感じました。バザーの準備は大変ですが参加者に楽しんでいただき、売上額が増加するよう頑張りたいと思います。

事務局 西山陽子



昨年の
チャリティバザーの様子

国連ウィメン日本協会 大阪

2021年度もコロナ禍での活動となりましたが、ブース出展やイベントの開催を行うことができました。

2022年3月には、久しぶりに対面での役員会を開催し、近況報告や今後の事業展開についてなど、役員の皆様と活発な意見交換を行いました。今年は役員の改選もあり、新役員理事の紹介後、和やかな交流の時間を過ごしました。

また、危機的な状況に置かれているウクライナの女性と少女を支援するために、大阪市立男女共同参画センター(クレオ大阪)5館に、ウクライナ支援募金箱を設置した所、合計90,340円の募金が集まりました。温かいご支援とご協力をありがとうございました。

この度、国連ウィメン日本協会大阪のニュースレターVOL.5を発行いたしました。昨年度の活動報告等掲載しておりますので、是非ご一読ください。

事務局 長栄くみ子



役員会の様子



ウクライナ支援募金



ニュースレターは
こちらから

国連ウィメン日本協会 よこはま

当会は新型コロナの影響下で大きな事業を見合わせてきましたが、地道な活動を継続しました。

ウィメンショップは、2022年6月からのフォーラム横浜ホール修復工事に伴い、5月より約1年間休業となりました。リアルの出店イベントがない現在、その間の販路を探すなどの検討を重ねています。

広報部会はHP/SNSの更新とニュースレターを年2回発行。2020年より断念していた主催事業は、今年の11月、コロナ禍でも対応できる小規模チャリティコンサートを準備中です。デジタル班は5月にデジタルとリアルの一体型ハイブリッドを試行し、外部のイベント参加や主催事業に備えています。

今後も会員の熱い思いの基、前向きに難題に取り組んでまいります。

会長 増岡啓子



楽しくハイブリッド試験中

国連ウィメン日本協会 東京

2022年度は、清泉女子大学 地球市民学科の安斎徹ゼミナールとの交流活動を計画しています。3月7日には2年生の「オンライン春ゼミ」に参加、国連ウィメン日本協会東京の活動について、「国連と私たち」、「これまでの経過と活動」、「今後の多世代間交流プロジェクト」という3部構成で紹介しました。説明後「女性の地位を守るべく寄付を集めて支援する国連ウィメンさんのお話はためになった」「女子大学に通っているからこそ学べるきっかけが得られたと思うので、これから知識を増やしていきたい」「自分たちの世代で、男女が平等に輝ける社会へと変化させていきたい」「無意識の偏見、アンコンシャス・バイアスは永遠の問題であると同時に、向き合わなければならない問題であると改めて感じた」との積極的で気づきに溢れた感想が寄せられました。今後も安斎ゼミとの様々な活動連携を計画しています。また10月7日にはチャリティコンサート「海野幹雄チェロリサイタル」、連続講座は、ミネルバ大学日本版を志向する安斎教授による「大学教育最前線シリーズ」を予定しています。

副会長 中曽美穂子



3部構成で、様々な角度から
私たちの活動をお伝えしました。

国連ウィメン日本協会 さくら

新型コロナウイルス発生から3年近く過ぎ、世界中が収束に向けて困難を乗り越える努力を重ねる日々です。私たちの活動も制約されております。そこでリモートで国連ウィメンの活動を理解していただくために、会員の皆さんと勉強会を開始致しました。

2022年2月、講師に静岡大学名誉教授・静岡県立大学で教鞭をとられている馬居行政氏を迎えてのオンライン。「子どもの現実―超少子社会を生きる男女の自立への道を切り拓くために」と題して講演をして頂きました。少子化問題を子どもの問題として捉えず、大人の私たちが今何を考えどう生きるかを、常に念頭に置きこの時代を生き抜くかが大事であり「自ら拓く力」の大切を学ぶと共に、世界に目を向け、国連ウィメンの使命がいかに重要かを訴えました。

副会長 小山志賀子



オンラインで勉強会

国連ウィメン日本協会 多摩

新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期されていた講演会「女性の自立とリーダーシップが世界を変える!」が7月10日(日)に実施できることになりました。講師は、国連ウィメン日本協会副理事長の岩城淳子さんです。

会場はオーナーさんのご厚意で延期を認めて頂き、同じ場所を使えることになりました。

第2部では、親子で楽しめる「0歳からのコンサート」を実現させている子育て中の女性たちのグループ「アンサンブルbalena」が出演してくれます。

心安らぐ器楽演奏のひと時を過ごして頂けることと幸いです。

広報担当 高橋由美



若い人たちの参加を願いコンサートも同時開催します。

国連ウィメン日本協会の活動

総会報告

2022年3月5日(土)10時半から、2022年度通常総会が行われ、2021年度の事業報告、決算、及び2022年度の事業計画、予算が承認されました。

決算報告

国連ウィメン日本協会2021年度決算報告
(2021年1月1日～12月31日)単位:円

一般会計

■収入の部

会費収入	2,305,000
寄付金収入	14,883,165
雑収入	2,000,061
当期収入合計	19,188,226

■支出の部

拠出金	11,064,873
事業費	4,261,718
管理費	2,163,520
当期支出合計	17,490,111

その他の資金

■収入の部

利息	22
----	----

当期正味財産増減額	1,698,137
前期繰越正味財産額	7,474,838
次期繰越正味財産額	9,172,975

2021年度拠出金支援報告

拠出金総額は11,064,873円となりました。

ご寄付にご協力いただきましたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。

- ①バングラデシュのロヒンギャ難民女性・少女支援プロジェクト 3,803,680円(32,810.15ドル)
- ②パンデミックインド 105,000円(905.72ドル)
- ③アフガニスタン(女子教育) 314,307円(2,723.16ドル)
- ④クラウドファンディング生理の貧困 493,722円(4,277.62ドル)
- ⑤アフガニスタン支援 798,164円(6,921.90ドル)
- ⑥女性に対する暴力撤廃国連信託基金 1,050,000円(9,104.33ドル)
- ⑦UN Women本部コア資金 4,500,000円(38,816.53ドル)

緊急募金実施中

皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

・戦火のウクライナで、女性と少女に欠かせないニーズが満たされ、彼女たちの権利が尊重される支援



事務局からのお知らせと報告

■ご寄付のお申込みについて

日本協会への寄付は毎月定額をご寄付いただく「継続寄付」(マンスリードネーション)とその都度ご寄付いただく「都度寄付」があります。いずれの寄付も税制優遇措置の対象になります。

お申込みは、国連ウィメン日本協会HPに掲載されております、こちらのページからお願い致します。

<https://www.unwomen-nc.jp/donation/#kifu>



「継続寄付(マンスリードネーション)」

毎月定額のご寄付を続けていただく募金方法です。毎月のご寄付は、世界の女性・少女を支援するUN Women が継続的にプログラムを展開するうえで、なくてはならないご支援であり、世界の女性・少女に希望の未来をもたらします。一度お申込みいただければご指定のクレジット・カードからの自動引き落としが可能な、インターネット決済をおすすめします。インターネット決済では、「継続寄付」をお選びいただき、毎月の定額を1,000円、2,000円、3,000円、5,000円のいずれかを選択していただきます。

「都度寄付」

寄付のお申し込みを随時、その都度お受けいたします。インターネット決済の場合は「都度寄付」を選択していただき、1口1,000円からのご寄付をお願いしております。

また、郵便振替もご利用いただけます。

郵便局 振替口座番号: 00240-7-43928

口座名義: NPO法人国連ウィメン日本協会

■賛助会員募集中

事務局へご連絡いただくか、ホームページからお申込みいただけます。

【年会費】個人 1口5,000円
団体 1口10,000円

■正会員団体14団体

(前回掲載以降2022.5.31現在)

(公財)アジア女性交流・研究フォーラム
NPO法人一冊の会
国際婦人年連絡会
堺市女性団体協議会
(公財)横浜市男女共同参画推進協会
(一財)大阪市男女共同参画のまち創生協会
群馬婦友会
国連ウィメン日本協会よこはま
国連ウィメン日本協会多摩
全国友の会
(株)高島屋
国連ウィメン日本協会さくら
国連ウィメン日本協会東京
国際ゾンタ26地区

■正会員個人30名

(前回掲載以降2022.5.31現在)

■賛助会員団体11団体

(前回掲載以降2022.5.31現在)

日本生活協同組合連合会政策企画部
にいがた女性会議
越谷ミズの会
(公財)佐賀県女性と生涯学習財団
(株)フジテレビジョン
国際ゾンタ姫路ゾンタクラブ
(株)クロスメディア・ランゲージ
特定非営利活動法人ウィメンズアイ
国連ウィメン日本協会北九州
(一社)大学女性協会
(株)Mar United

■賛助会員個人129名

(前回掲載以降2022.5.31現在)

以上、敬称略

<認定>NPO法人国連ウィメン日本協会

事務局

〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町435-1

男女共同参画センター横浜内(フォーラム)

・TEL/FAX 045-869-6787

・E mail unwomennihon@adagio.ocn.ne.jp

・ホームページ <https://www.unwomen-nc.jp>

●交通のご案内 JR・横浜市営地下鉄「戸塚駅」下車、徒歩7分

